

NHKBS の番組 「英雄たちの選択」で、 工楽松右衛門の選択が放映される

北前船に賭けた男たち ～工楽松右衛門と高田屋嘉兵衛～

<放映日>

NHK BS 10月14日(月) 午後9時～午後10時

NHK BSP 4K 10月10日(木) 午後8時～午後9時

NHK BSP 4K 10月14日(月) 午後1時30分～午後2時30分

慶応義塾大学大学院文学部研究科修士課程を卒業後、現在国際日本文化研究センター教授であり、且つ歴史家として大活躍の磯田道史さんが毎回シャープな切り口で司会を担当されている超人気番組において、工楽松右衛門が取り上げられた。

幕府から依頼された蝦夷地での港湾設備の建設を、公儀にしたがって(多くの船乗りの役に立ち、公益に尽くすため)引き受けるべきだろうか、それには多くの費用がかかり、自らの費用の用立ても必要になるはずだ。さて、工楽松右衛門の下した選択は？ というテーマで、番組に登場の現慶応義塾大学経済学部教授の中西聡先生、作家の真山仁さんの判断は如何に？

番組では、松右衛門自身が開発し、実際に販売する前に試織した本当の松右衛門の帆が、所蔵している工楽家の手で紹介されました。実物がここまで丁寧に紹介されたのは、テレビでは初めてです。松右衛門の帆の一番大事なポイントである、太い木綿の糸(約1ミリ強)を2本に縫って一本にし、それを帆の中央部の織り方と帆の両端(耳の部分)の織り方を変えて千石船の帆としての操作性と耐久性を画期的に向上させたそのアイデアと苦労の跡が詳しく説明された。高砂の現工楽家旧宅で展示されている、これが松右衛門帆です、という展示品と随分違っている。高砂市は、郷土の偉人の業績を誤った判断で真実ではない帆を、見物に来られたお客様に本物であると紹介することはもうやめて欲しい。恥ずかしいこととは考えないのだろうか。

NHK が、工楽松右衛門の行った仕事を追っかけて全国を丁寧取材されたこと、その徹底ぶりに驚きました。正しい番組の製作のためにここまでするのか、と。その取材の成果として、帆の調査のみでなく工楽松右衛門の三代にわたって修築、改修、増築を繰り返した高砂港のことも詳しく調査し、取材して番組に取り上げていただいたこと、本当に有り難いことでした。令和 5 年 9 月に日本土木学会から、工楽松右衛門の手になる「高砂港向島突堤」が選奨土木遺産に認定されたこととあわせて、改めて郷土の遺産として再認識されるべきだと思います。